

## 令和4年度埼玉版FEMAシナリオ作成等業務委託の 公募型プロポーザルに係る参考資料

下記資料は、「令和4年度埼玉版FEMAシナリオ作成等業務委託」の公募型プロポーザルを実施するに当たり、当該業務の理解に資することを目的とし、参考として提示するものである。

参照に当たっては、以下の点に留意すること。

- ・各参考資料は、令和3年度に作成したものを基に、公開用に加工したものであること。
- ・今年度の業務実施において、各資料の記載や様式等に必ずしも縛られるものではないこと。

### <参考資料>

- (1) 埼玉版FEMAの概要
- (2) シナリオ
  - ア、役割分担表
  - イ、タイムライン
  - ウ、訓練シナリオ（抜粋）

## 参考資料（1） 埼玉版FEMAの概要

### 埼玉版FEMAの概要

- 平時において起こり得る災害をあらかじめ想定し、その規模や種類に応じて対応する官民の組織、団体、企業などを定め、時系列的に実施すべき行動をあらかじめ取り決めておく。  
⇒危機管理の要諦は想像力と平時の「準備」にある
- この取り決めに基づき災害対応のシナリオを作成し、図上訓練を繰り返す、災害対応力を高めていく手法である。  
⇒シナリオ作成や図上訓練を通して関係機関同士の「顔の見える関係」と「連携の強化」を推進する

#### 【FEMA(米国緊急事態管理庁)】

- ・国土安全保障省(DHS)に属する米国の政府機関。緊急対応時にはFEMAに権限を一元化、実動部隊を備える。
- ・埼玉版FEMAでは、県は実動部隊を持たず専門家も限られているため、FEMAが災害に応じて様々な専門知識を有する政府機関や民間を組み合わせ、実効性ある初動体制を迅速に行えるよう調整する機能に着目した。

### 埼玉版FEMAの特徴

- 関係機関同士の「顔の見える関係」と「連携の強化」を推進する手法である。(新組織を立ち上げるものではない)
- 図上訓練は自由に意見を交わす検討会方式で実施する。(ロールプレイング形式の図上訓練ではない)

### 埼玉版FEMAの実施手順

①シナリオ作成  
具体的な被害を前提に、関係機関への確認等の上でシナリオを作成

②シナリオに基づく訓練  
シナリオに基づき図上訓練を実施。

③課題の抽出  
事後検証を行い、新たな課題等を明らかにする。

④シナリオへの反映  
明かになった課題等をシナリオに反映。更新したシナリオを基に更に検討を深める。



### 図上訓練の実施状況

第1回 (10月28日)	「大規模停電時の電源車配備と非常用燃料の確保」	38機関	61人参加
第2回 (12月1日)	「浸水害時の避難・救助」	51機関	70人参加
第3回 (12月24日)	「新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所の開設・運営」	52機関	68人参加
第4回 (1月31日)	「浸水害時における救援物資の供給」	46機関	57人参加
第5回 (2月16日)	「風水害時の断水への応急給水」	39機関	55人参加
第6回 (3月22日)	「土砂災害に伴う救出、救助」	29機関	47人参加

### 図上訓練の実施方法

- 検討会方式(学習型訓練)で訓練を実施
  - ・「進行役(ファシリテーター)」による質問と、参加者からの回答を繰り返す形式
  - ・質疑応答を通じて、各機関の対応を関係者間で確認・共有
  - ・ロールプレイング方式ではなく、自由に意見を交わす方式

(2) シナリオ ア、役割分担表

役割分担表

～風水害時の浸水害への対応（避難、救助、御遺体、物資、廃棄物）～

組織名称 対処事項		県													関係機関					民間																	
		統括部	渉外財政部	総務部	農林対策部	給水部	産業対策部	環境対策部	救援福祉部	医療救急部	応急復旧部	住宅対策部	下水道対策部	輸送部	文教部	議会部	支部	市町村	消防本部	警察本部	陸上自衛隊	内閣府（防災担当）	熊谷地方気象台	荒川上流河川事務所	県老人福祉施設協議会	県トラツク協会	県倉庫協会	県建設・解体業協会	県葬祭業協同組合	電力・ガス事業者等	物資事業者等	医薬品団体	避難所設備団体				
全般	県本部運営	本部、支部運営	◎														○																				
		情報収集、施設応急対策	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																				
	リエゾンの派遣	◎																	○	○	○	○	○				○										
広報	気象情報、洪水予報等	○								◎								○					◎	◎													
	住民への注意喚起	◎																◎	○	○	○	○	○	◎													
応急対応	救出・救急活動	◎								○								○	◎	○	○																
	医療救護等対策	医療活動	○							◎								○	○		○																
		御遺体対応	○								○								◎		○										○						
被災者支援	避難対策、避難所運営	避難所、緊急避難場所の開設・運営	○						○	○		○			○			◎	○	○																	○
		避難指示、避難誘導、移送	○																◎	○	○	○															○
		避難所運営における新型コロナウイルス対策	○							○	○		○			○			◎																		
	要配慮者対策	福祉施設入所者の移送	○							○				○				○	○	○	○				◎												
	物資供給・輸送対策	物資拠点の開設・運営	◎									○			○		○	◎			○	○					○	○									
		物資の調達、供給、輸送	◎			○		○		○		○		○	○		○	◎			○	◎					○	○							○	○	
ライフライン	ライフライン対策	電気・ガス・水道の復旧	○			◎						◎						◎		○															◎		
	道路対策	道路規制・啓開・復旧	○								◎							○		◎	○								○								
	廃棄物対策	仮置場の設置等	○															◎			○																

【凡例】◎：主要機関（Primary） ○：支援機関（Secondary）

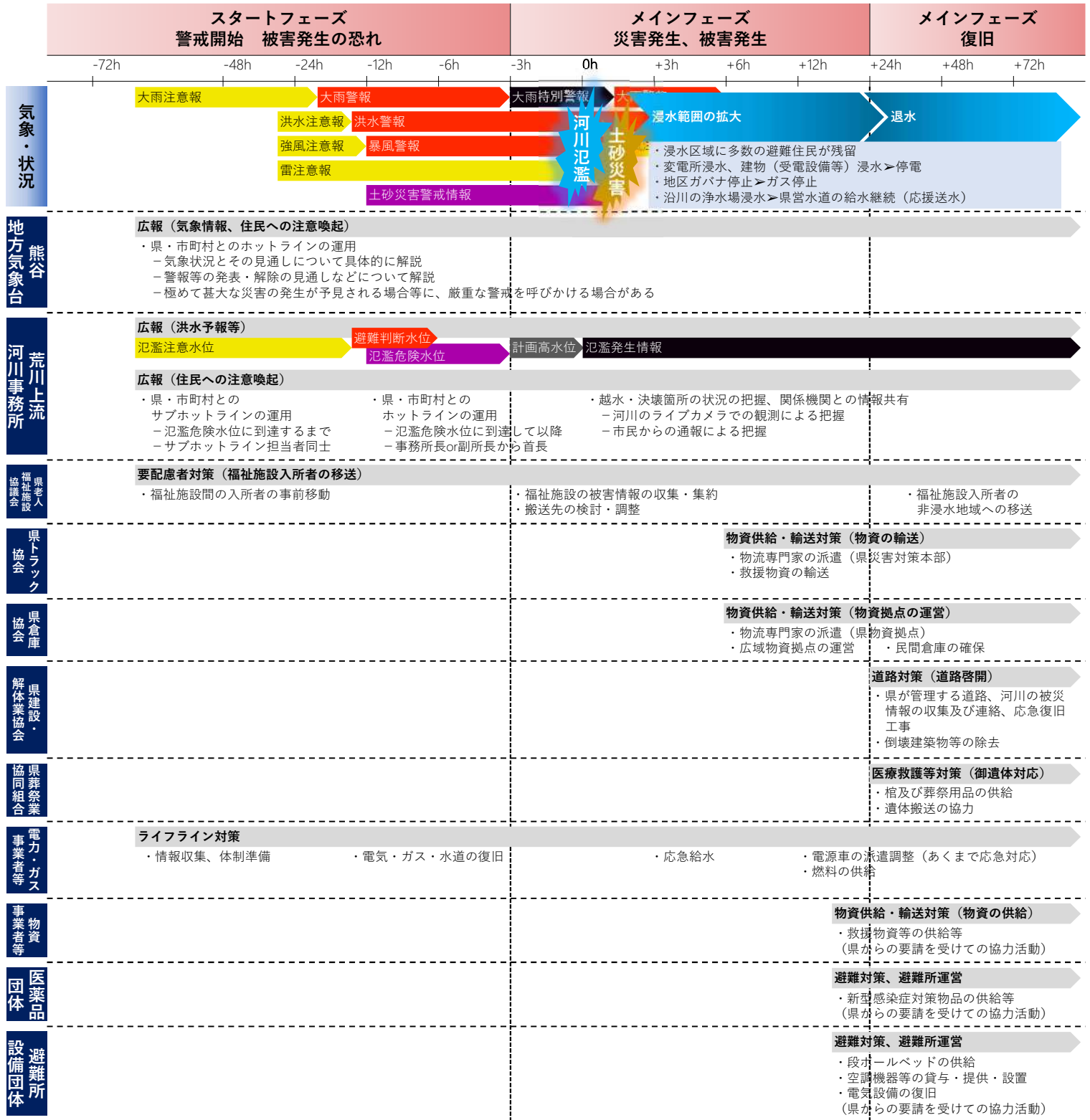
タイムライン (時系列の行動計画)

～風水害時の浸水害への対応～



タイムライン（時系列の行動計画）

～風水害時の浸水害への対応～



令和3年度第2回 埼玉版 F E M A 図上訓練 訓練シナリオ  
 ～風水害における浸水害時の避難・救助～

訓練実施日：令和3年12月1日(水)

<目次>

前提.....	1
討議ポイント.....	1
スタートフェーズ(台風接近～警戒レベル3前) .....	2
【-96h】8月27日(木)12時.....	2
【-72h】8月28日(金)12時.....	2
【-70h】8月28日(金)14時.....	2
【-51h】8月29日(土)9時.....	2
【-48h】8月29日(土)12時.....	3
【-36h】8月30日(日)0時.....	3
【-27h】8月30日(日)9時.....	3
【-26h】8月30日(日)10時.....	4
【-22h】8月30日(日)14時.....	4
【-21h】8月30日(日)15時.....	5
【-17h】8月30日(日)19時.....	5
【-12h】8月31日(月)0時.....	5
【-9h】8月31日(月)3時.....	5
メインフェーズ①(避難呼びかけ「連携」) .....	5
【-8h】8月31日(月)4時.....	5
【-7h】8月31日(月)5時.....	7
【-3h】8月31日(月)9時.....	8
メインフェーズ②(荒川越水後) .....	8
【0h】8月31日(月)12時.....	8
【+3h】8月31日(月)15時.....	8
【+9h】8月31日(月)21時.....	9
フェーズ③(救出・救助) .....	9
【+11h】8月31日(月)23時.....	11
【+12h】9月1日(火)0時.....	11
【+15h】9月1日(火)3時.....	12
【+18h】9月1日(火)6時.....	12
【+24h】9月1日(火)12時.....	12
フェーズ④(搬送) .....	12
【+27h】9月1日(火)15時.....	12
【+42h】9月2日(水)6時.....	12
【+60h】9月3日(木)0時.....	12

## 前提

本シナリオは訓練参加機関に係る部分を中心に作成

- 河川洪水
    - ・ 台風を含む、3日間の大雨で荒川左岸堤防が決壊。
    - ・ さいたま市、戸田市、蕨市、川口市の4市が浸水。
      - － さいたま市と川口市は浸水地域と非浸水地域が併存。
      - － 戸田市と蕨市は大部分が浸水してしまう。
  
  - 訓練局面
    - ・ スタートフェーズ … 避難呼びかけ前
    - ・ メインフェーズ① … 避難呼びかけ
    - ・ メインフェーズ② … 荒川越水後
    - ・ フェーズ③ … 救出・救助
    - ・ フェーズ④ … 搬送
- ※ 今回は、メインフェーズ①・②を集中討議。

## 討議ポイント

- ◎ 住民避難に係る他機関連携
- ◎ 決壊情報の把握、連絡調整の流れの確認
- 実動部隊の出動に関する連携

※ シナリオ内で冒頭が「\*」印の記述は、訓練内での討議結果を反映したもの。

## スタートフェーズ（台風接近～警戒レベル3前）

### 【-96h】8月27日（木）12時

- 報道（気象情報）
  - ・ 超大型台風が接近。
  - ・ 8月31日（月）未明頃本州（静岡県～神奈川県）上陸見込み
  - ・ 数百年に一度の規模の降水量、河川流量が予測。大雨特別警報の発令も見込まれる。
  - ・ 河川の洪水、氾濫に注意

（本訓練における、29日以降の降雨量は以下のとおりとする。）

- ・ 8月29日（土）200mm
- 8月30日（日）250mm
- 8月31日（月）200mm

### 【-72h】8月28日（金）12時

#### 【さいたま市】

- **風水害警戒本部**（災害対策本部の縮小版のイメージ）設置の準備体制。
- 自主避難のための避難所の開設を決定。

### 【-70h】8月28日（金）14時

#### 【川口市】

- 配備検討会議を実施し、災害対策本部、避難所開設時期の検討。

### 【-51h】8月29日（土）9時

#### 【県】

- **災害即応室**（災害対策本部の縮小版のイメージ）を設置
  - ・ 4市ヘリエゾン（市町村情報連絡係／連絡員）を派遣

#### 【戸田市】

- **災害警戒本部**（災害対策本部の縮小版のイメージ）を設置。



### 【蕨市】

- **災害警戒本部**（災害対策本部の縮小版のイメージ）を設置。

### 【-48h】8月29日（土）12時

#### 【県】

- **災害対策本部**を立ち上げ。
  - ・ 自衛隊等の外部機関との連絡調整が本格化。
  - ・ 一部機関は、県災害対策本部にリエゾンを派遣。
  - ・ 警察が危機管理防災センターにリエゾンを派遣。
  - ・ 陸自が危機管理防災センターにリエゾンを派遣。
  - ・ 代表消防機関（さいたま市消防局）が危機管理防災センターにリエゾンを派遣。
  - ・ 東京電力P Gが危機管理防災センターにリエゾンを派遣。

### 【川口市】

- **風水害警備第1・第2体制**
- 雨脚が強まる。
- 山間部でも雨脚が強まり、荒川、入間川流域の水位上昇

### 【-36h】8月30日（日）0時

- 4市のこの日の雨量は200mm

### 【-27h】8月30日（日）9時

#### 【荒川上流河川事務所】

- 河川水位（荒川：治水橋観測所）
  - ・ **水防団待機水位7.0m**に到達することが見込まれると判断し、県、各市へホットラインで通達する。

### 【さいたま市】

- **風水害警戒本部**を設置

### 【川口市】

- **災害対策本部**を設置
  - ・ 各機関からのリエゾン派遣を希望。

- ・ 警察が、大雨特別警報発令見込みや、県内での甚大な被害予想を踏まえ、警察署から川口市災害対策本部にリエゾンを派遣。
  - ・ 陸自が、県内での甚大な被害予想を踏まえ、自主的にリエゾンを派遣。
- 自主避難のための避難所を開設する。

### 【-26h】8月30日（日）10時

#### 【さいたま市】

- 自主避難のための避難所を開設する。  
→ 一部市民の避難が始まる。

### 【-22h】8月30日（日）14時

#### 【さいたま市】

- **災害対策本部**を設置。
- ・ 各機関からのリエゾン派遣を希望。
  - ・ 警察が、大雨特別警報発令見込みや、県内での甚大な被害予想を踏まえ、警察署からさいたま市災害対策本部にリエゾンを派遣。
  - ・ 陸自が、県内での甚大な被害予想を踏まえ、自主的にリエゾンを派遣。
  - ・ 東京電力P Gが、さいたま市との協議により、リエゾンを派遣。

#### 【戸田市】

- **災害対策本部**を設置。
- ・ 各機関からのリエゾン派遣を希望。
  - ・ 警察が、大雨特別警報発令見込みや、県内での甚大な被害予想を踏まえ、警察署から戸田市災害対策本部にリエゾンを派遣。
  - ・ 陸自が、県内での甚大な被害予想を踏まえ、自主的にリエゾンを派遣。

#### 【蕨市】

- **災害対策本部**を設置。